



# 福島議定書2021

(事業所版)

従来編



～ゼロカーボンへの挑戦～

## 参加者募集のお知らせ

「福島議定書」事業は、事業所の皆様が、自らの目標を定めて地球温暖化対策の実施を知事と「議定書」として取り交わし、取り組んでいただく事業です。

※令和2年度は、1,624事業所に参加いただきました！

### 知事メッセージ

地球温暖化対策は、私たち一人一人にとって避けることができない緊喫の課題であり、日々の暮らしや企業活動の中で、省資源・省エネルギーの徹底など温室効果ガスの排出削減を意識して、行動していくことが重要です。

県では、事業所の皆様の自主的な地球温暖化対策を推進するため、平成20年度から「福島議定書」事業を実施しており、これまで多くの事業者の皆様に参加いただいております。

令和3年2月に、私は2050年までに脱炭素社会の実現を目指す「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。この実現には、県民の皆様と一体となって地球温暖化対策に取り組むことが必要です。

かけがえない地球の未来、そして私たちのふるさと「福島県」が美しく豊かであり続けるよう、「福島議定書」事業の輪を更に広げ、共に地球温暖化対策に取り組んでいきましょう。



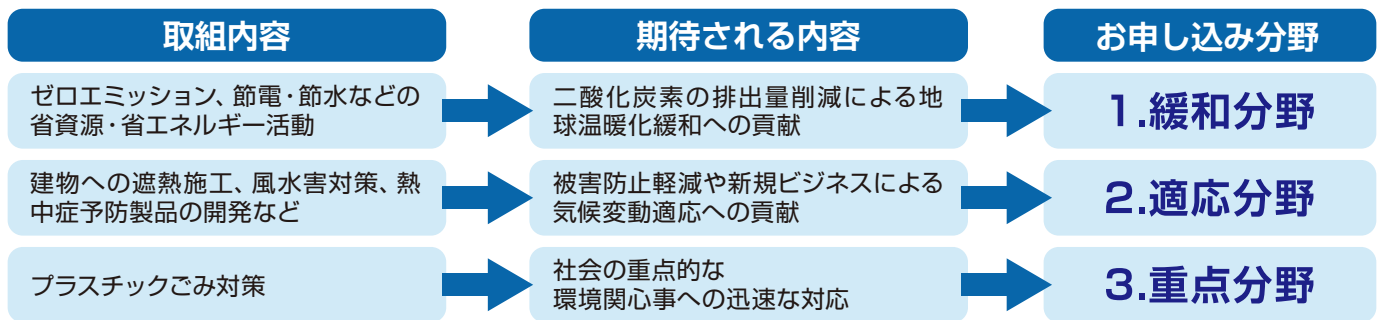
令和3年4月 福島県知事 内堀雅雄



福島県の地球環境保全のキャラクター「エコたん」

**対象** 地球温暖化対策に取り組む意思があり下記の取組が実施できる県内事業所（業種・規模不問）

**取組内容と申し込み分野（1つ以上を選択してください。）**



### 参加のメリット

#### 参加事業所として広報します！

「福島議定書」参加事業所として広報媒体やイベントなどで広報します。

#### 優良な取組事業所を表彰します！

取組結果を審査し表彰式を行います。



#### アドバイザー無料派遣が利用できます！

省エネ・エコドライブについて専門家を派遣します。

#### 省エネ設備補助に応募できます！

中小企業の皆様を対象に省エネ設備の更新等を補助する県の事業に応募できます。

参加申込・  
問い合わせ先

### 福島県庁 環境共生課

電話 024-521-7813 FAX 024-521-7927

E-mail giteisyo@pref.fukushima.lg.jp

募集期間

8月31日(火)まで

## スケジュール

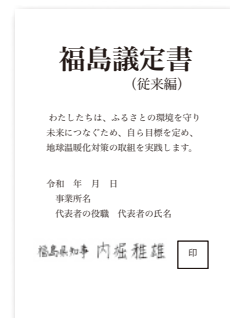
### ■参加申込(4月1日~8月31日)

- 参加申込書(様式1)を提出してください。  
参加申込いただいた事業所に、県が「福島議定書」を発行します。
- 事業所の状況に合わせて、登録する部門を選択してください。

部門	例
オフィス・店舗等	●事務所 ●金融機関 ●スーパー ●卸売、小売業 ●サービス業 ●飲食店 ●医療機関、福祉施設 ●大学 等
製造業等	●製造業 ●電力・ガス ●印刷業 等
運輸・設備業・その他	●運輸、交通 ●廃棄物処理業 ●設備点検業 ●建設業 等 ●その他、上の2つに属さないもの

※部門の分類は、日本標準産業分類による分類と同一ではありません。

- 実施する取組分野(緩和・適応・重点)の目標を記入してください。
- 省エネアドバイザーの派遣を希望する事業所は緩和分野への取組をお願いします。



「福島議定書」イメージ

### ■取組の実施(6月~11月より2~6ヶ月を選択)

- 取組内容を決め、実施してください。  
取組内容については、本パンフレットの取組事例を参考にしてください。

### ■結果報告(8月1日~12月28日)

- 取組結果報告書(様式2)を提出してください。  
次年度の参加継続の意思を確認する項目もありますので、ご注意ください。
- 緩和分野で二酸化炭素の排出量削減目標を達成した事業所に、「認定証」を交付します。



### ■表彰式(2月予定)

- 取組の優秀な事業所を表彰します。  
最優秀賞、優秀賞(部門毎の表彰)  
団体部門賞(代表事業所が取りまとめて報告する場合に対象)  
奨励賞(部門・分野を問わずに選考)  
分野賞(取組分野毎の表彰) などを予定しています。

※表彰事業所の選考は、12月28日までに報告書の提出がなされた事業所を対象として行いますので、期日までの提出をお願いします。

## ゼロカーボンへのチャレンジ!!

### ■表彰事業者では、次のような取組を実践しています。

- 通勤による二酸化炭素排出量を削減するため、ノーマイカーデーを創設
- 水害の被害防止のため、建物への浸水を防ぐための訓練を実施
- プラスチックごみを削減するため、社内でプラスチック製品の使用を削減する宣言を制定し、意識啓発を実施

### ■コロナ禍であっても節水や節電だけでなく、次のような取組も大切です。

- エコドライブ実践による、二酸化炭素排出量の削減
- 事業所内の排水路の清掃による、ゲリラ豪雨対策の実施
- マイバッグ・マイボトル持参によるプラスチックごみの削減

**ゼロカーボンの実現に向けて、一人一人の取組が重要ですので、  
できることから「ひとつひとつ」チャレンジしてみましよう!**

## 主な取組事例

地球温暖化を緩和するため、二酸化炭素の排出量削減につながる省資源・省エネルギーの取組及び関連する地域社会貢献活動



### 緩和分野

<b>節電</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気はこまめにスイッチ・オフ</li> <li>● 冷暖房のフィルターの定期的な清掃</li> <li>● LEDへの転換</li> </ul>	<b>節水</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛇口をこまめに閉める</li> <li>● 節水コマの使用</li> <li>● 水道使用量の定期的な点検</li> </ul>
<b>使用燃料の削減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電気自動車等の使用</li> <li>● 車両の定期的な点検</li> <li>● エコドライブの実施</li> </ul>	<b>温暖化対策の取組意識向上のための工夫</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球温暖化担当部署(者)の設置</li> <li>● セミナーやシンポジウムへの参加</li> </ul>
<b>職場交通マネジメント (クルマ通勤からの転換)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩・自転車通勤の奨励</li> <li>● テレワーク・ワーケーションの推進</li> </ul>	<b>ゼロエミッション (廃棄物ゼロ)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ペーパーレス会議の導入</li> <li>● 3Rの徹底</li> </ul>
<b>二酸化炭素の排出量が少ない電力への切替</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーの導入</li> <li>● 太陽光発電、燃料電池など創エネルギーの導入</li> </ul>	<b>社会貢献活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域での出前講座の実施</li> <li>● ゴミ拾い運動の実施</li> </ul>

気候変動に適応するため、風水害等の被害の防止・軽減とともに、適応をビジネス機会と捉えた企業活動及び関連する地域社会貢献活動



### 適応分野

<b>暑さ対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏場の朝方勤務の実施</li> <li>● グリーンカーテンの設置</li> </ul>	<b>風水害等の被害の防止・軽減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 構内排水路の清掃</li> <li>● 災害時のマニュアルの策定</li> </ul>
<b>適応をビジネス機会と捉えた企業活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 熱中症予防対策</li> <li>● 風水害対策</li> </ul>	<b>社会貢献活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温暖化適応の普及啓発</li> <li>● 地域の防災活動への協力</li> </ul>

社会的関心度の高い環境に関する事項である「プラスチックごみ対策」に対応するため、企業で実施している取組及び関連する地域社会貢献活動



### 重点分野

<b>対策例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プラスチック製品からの転換</li> <li>● マイボトル・マイバッグの推進</li> </ul>	<b>社会貢献活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プラスチック回収プログラムに参加</li> <li>● 環境保全活動</li> </ul>
--	--

## 独自の取組にチャレンジ!!

「主な取組事例」に記載された取組に加え、各事業所独自のアイデアを取り入れた様々な取組を実施することも効果的です。

独自の取組を積極的に実施し、取組内容を報告書の「その他独自取組」欄に記載してください。



# 優良取組事例事業所

オフィス・店舗等部門（従来編）

## みやぎ生協・コープふくしま

令和2年度最優秀賞



**(1) 省エネの取組み**

- 高効率の冷凍冷蔵設備を店舗や共同購入センターに導入
- 冷暖房の空調温度管理
- 電気のデマンドコントロール

**(2) 再生可能エネルギーの利用**

- 太陽光発電設備の導入

●再生可能エネルギー利用のポスター掲示

**(3) ごみの分別リサイクルの取組み**

- 食品トレイ、紙パック、アルミ缶、スチール缶の回収

●組合員から古紙を回収

**(4) レジ袋削減  
マイバッグ持参の推進**

**今後の課題**  
リサイクルの種類を増やすこと（透明トレイ、食品残渣）、CO2排出係数の低い再生可能エネルギーへの切り替えを行いCO2の削減を行う。

製造業等部門（従来編）

## NOK株式会社 福島事業場

令和2年度最優秀賞



NOKグループは、企業行動憲章において「経済社会の発展を担うだけでなく、すべての利害関係者、いわゆるステークホルダーに誇りをもってまいり、ともに夢を追い続けることのできる経営」を推進すると定めています。すべての事業活動は企業行動憲章（経営理念・経営方針・企業行動原則）を土台として行っています。そして環境、社会、企業統治の各方面において、企業の社会的責任（CSR）を果たすことは、事業活動の継続と一体のものであると考えています。また幅広い背景と状況を考察し、事業におけるリスクや機会を特定するためにも、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが大切であると考えます。NOKグループは、利益だけでなく「誇り」をもたらすことのできる企業を目指しています。

**環境基本方針** 企業が社会の一員であることを前提に、事業の活動・製品及びサービスが広く地球規模での環境影響に関わりを持つことを全社員が認識し、持続的な発展が可能な社会の実現に貢献すべく会社の環境基本方針を定め、次世代以降も視野に入れた環境保全管理に努めます。

（簡略版）

1. 技術の向上・製品の開発を推進し、環境負荷の低減に努める。
2. 省エネルギーと資源の再利用を推進する。
3. 化学物質の管理、地球環境汚染の防止、水使用及び排水管理の取組みを強化する。
4. 環境法規制、条例等を遵守する。
5. ステークホルダーの要求事項に対して積極的に取り組む。
6. 環境保全活動を通じて、地域・社会とのコミュニケーションを図る。
7. 地球環境への意識を高揚し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努める。

全文はNOKのホームページを参照ください。



**1. 緩和分野（CO2排出削減）**

- ・省エネ委員会による省エネ活動の推進（パトロール、省エネ計画推進）
- ・冷媒液化促進装置の取付
- ・Web会議推進による社有車使用燃料の削減
- ・全従業員を対象とした環境教育の実施（1回/年）
- ・外灯照明のソーラーLED化
- ・空調室外機へ散水装置の設置
- ・夏28℃冬20℃の温度設定
- ・デマンドの見える化

**2. 適応分野の取組結果**

- ・BCM計画の策定（机上訓練実施）
- ・ゲリラ豪雨対策として、社内駐車場で貯水できるよう、排水経路の変更
- ・熱中症対策として、塩分補給タブレットの配布
- ・グリーンカーテンの設置
- ・緑地駐車場の整備

**3. 重点分野（プラスチックごみ対策）**

- ・エコバンド導入による輸送用ラップの削減
- ・歯ブラシ回収プログラムの参加
- ・不適合品対策による廃棄物発生量の削減

**4. 関連する社会貢献活動（1/2）**

- ・海ゴミゼロウィーク活動 9月23日、9月30日実施 延べ74名参加
- ・猪苗代湖水草回収ボランティア 10月17日実施 14名参加

**Always, Everywhere**

世の中を動かす、中の人です。

**4. 関連する社会貢献活動（2/2）**

- ・献血活動
- ・コロナ対策備品の寄付
- ・地域スポーツチームへの協賛（福島ファイヤーボンズ・福島ユナイテッドFC）
- ・学生スポーツクラブへの体育館貸出





### 社会貢献活動取組状況

#### ① エコキャップ運動 (重点分野：プラスチックゴミ対策)

海洋プラスチックによるごみは、普段私たちが使っているプラスチック製のペットボトルや容器などが、ポイ捨てなどによる適切な処分がなされずに海に流されることが原因であります。プラスチックごみは海洋の汚染だけでなく、海に生きる生物や産業、私たちの体にまで影響を与えます。プラスチック製品は私たち消費者が使い、そして処理を適正に行っていないためにごみとなって海に流れ着いてしまうことが要因であります。



私たち消費者が、プラスチックごみの削減・海洋プラスチックを出さないためには、\*3R実施を心掛ける：「リデュース (Reduce)」「出さない」「リユース (Reuse)」「再使用する」「リサイクル (Recycle)」「再利用する」必要があります。

弊社としましては、「キャップ専用回収容器」を、①本社②小名浜工事事務所③49号線維持工事現場事務所にて常時設置しております。

※2020年度重点分野 (プラスチックごみ対策) (目標) エコキャップ運動に積極的参加

・・・5回提供出来ました。

・エコキャップ提供

・エコキャップ提供先：隣近江物産福島



私たちは、日々の生活でプラスチック製品を使い、プラスチックごみを出しています。例えば、お店でもらうレジ袋、プラスチック製のスプーンやストロー、商品のパッケージ等。日本は、一人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。プラスチックの3Rを進めるためには、私たち一人ひとりがプラスチックごみを減らす取組をしていくことが重要であります。

### 熱中症対策の実施 (適応分野：気候変動適応策)

#### ①熱中症ゼロを目指す。(作業所含)

猛暑の中、日中屋外で作業をする建設業は、全産業の中でも「熱中症発症率のリスク」が高い業種であります。熱中症は、気温の他にも湿度や風向、熱の照射、作業内容 (運動量)、作業員の体調など総合的な要因によって発症し、高温・多湿な環境下で、体内の水分・塩分 (ナトリウム) バランスが崩れて、体に障害が起きている状況 (日射病・熱射病・熱疲労・熱痙攣・熱失神など) の総称で、めまいや失神、頭痛、吐き気、筋肉痛などの症状から、意識障害・痙攣 (けいれん)・高体温などを引き起こす重篤なものまで様々な症状があり、場合によっては死に至ることもあります。作業所の主な熱中症対策として、①各種「熱中症対策グッズ・用品」の購入②各作業所での教育実施 (安全協議会等) ③気象情報の入手④作業現場の環境改善⑤休憩場所の整備⑥水分・塩分の摂取⑦作業中の巡回等あります。

※2020年度適応分野 (気候変動適応策) (目標) 熱中症ゼロを目指す。

・・・熱中症発生はゼロでした。

・熱中症対策グッズ



・作業現場の環境改善



・安全講習会 (熱中症対策等)



豊かでくらしやすい地域を大切に、子孫に対して、人類共通の財産である美しい地球を残すため、環境保全に配慮した事業活動を行います。経済と環境が両立した「持続可能な社会づくり」の為に、循環型システムの構築と人類共通の課題である地球温暖化対策をすすめます。原発に頼らないエネルギー政策や再生可能エネルギーの推進の為、施設や設備の省エネ化や再生可能エネルギーの利用促進を行います。

#### 1. 温室効果ガス削減目標

温室効果ガスの排出量を、2030年までに2013年比45%以上削減する。2050年までに90%以上削減する。

・地球温暖化は、私たちの暮らしを脅かします。持続可能な社会づくりを進めるためにも、温室効果ガスの削減はコープあいづとしても重要な課題と捉え、具体的な目標を設定して取り組みを進めていきます。



・フロン使わない冷蔵庫の導入。

フロン対策だけではなく、同じような冷蔵庫と比較して約15%程度省エネになります。

また、蓋つきのケースを採用し、冷気の流出を防ぎます。



4. プラスチックの使用抑制

・レジ袋を、バイオマスプラスチック (90%使用) に切り替え、プラスチックの使用抑制を図っています。



#### 2. 温室効果ガス削減の取り組み

・天井照明やスポットライトは、すべてLED照明に変更しています。



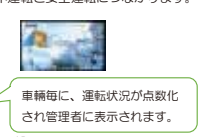
・店舗の飲料冷ケース、閉店後の冷却を停止。プレハブ冷蔵庫のファン停止。\*少しでも無駄な電気は使用しないよう、設定変更やタイマーなどを活用して省エネ。



・配管の断熱による放熱ロスの抑制



・配達車両にエコドライブシステムを導入。無駄なアイドリングや急発進急ハンドルの抑制を行い、省エネ運転と安全運転につながります。



車輻毎に、運転状況が点数化され管理者に表示されます。

・エシカル消費を進めています。

プラスチックの使用量を抑制したペットボトル飲料や再生プラスチックを使用したレットルカレーなどの普及を行っています。



ラベルの長さを短くしました  
本体の重量 31g→24g

回収ペットボトルを使用した包装を使用。

5. その他

・「猪苗代湖クリーンアクション2019Vol2 IN舟津浜」や「クリーンふくしま鶴ヶ城公園清掃」などの清掃活動にも参加しています。





# 「福島議定書」事業参加事業者の皆様

地球温暖化対策を推進していただきありがとうございます。

NEW: 新規参加 ★: 2~4回参加 ★★: 5~9回参加 ★★★: 10回以上参加



## 令和2年度従来編 オフィス・店舗等部門

★★★★	富士ゼロックス福島株式会社	優秀賞	★★★★	東北クリーン運輸株式会社	
★	株式会社福島マツダ		★	ゼビオ株式会社	
★★	株式会社パスコ 福島支社		★★★★	株式会社有明	
★★★★	株式会社東邦銀行	分野賞	★★★★	福島さくら農業協同組合	
★★	株式会社ダイエー		★★★★	常磐共同火力株式会社 勿来発電所	
★	公益財団法人 湯浅報恩会寿泉堂香久山病院		★★★★	陸奥テックコンサルタント株式会社	
★★	株式会社二嘉組		★★★★	ヘアルーム友	
★★	福島県土地改良事業団体連合会		★★★★	ベスト学院株式会社	
★★★★	福島トヨペット株式会社		★★	アティ郡山	
★★★★	寿建設株式会社		★★★★	滝口木材株式会社	
★★	株式会社東日路政コンサルタント		★	株式会社磐梯園	
★★	郡山女子大学	分野賞	★	有限会社郡山みづほライスセンター	
★★★★	郡山女子大学短期大学部	分野賞	★	福交整備株式会社	
★★★★	公益社団法人福島県トラック協会		★	株式会社共栄ブレーン	
★★★★	北日本電線株式会社 福島支社		★	東北緑化環境保全株式会社 原町支社	
★	株式会社相双環境整備センター		★	株式会社島工業	分野賞
★★★★	株式会社地質基礎		★	桑折町役場	
★★	株式会社インフォメーション・ネットワーク福島		★	東北電力株式会社 原町火力発電所	
★★	株式会社凜		★	株式会社ノウチ工業	
★	須賀川瓦斯株式会社 本社		★	金山町商工会	
★★★★	株式会社トーカン		★	社会福祉法人 のびのび福祉会 のびのび保育園	
★	株式会社福島民報社		★	有限会社佐藤商会	
★★★★	社会医療法人福島厚生会 福島第一病院		★	生活協同組合 コープあいづ	団体部門賞
★★	社会医療法人福島厚生会 介護付有料老人ホーム シャローム		★	生活協同組合 パルシステム福島	
★★★★	会津大学短期大学部		★★	一般社団法人いわき労働基準協会	分野賞
★★	いわき信用組合		★	宮本自動車工業株式会社	
★★	株式会社ユアテック福島支社		★	社会福祉法人南会津会 特別養護老人ホーム 只見ホーム	
★★	キョウワプロテック株式会社		★	有限会社すずき屋	
★★★★	株式会社ラジオ福島		★	ボックス情報システム株式会社	
★	みやぎ生協・コープふくしま	最優秀賞	★	下郷町森林組合	
★	会津信用金庫		★	サッポロビール株式会社 東北本部南東北支社	
★★	郡山信用金庫		★	株式会社竹内商店	
★★	白河信用金庫		★	有限会社榎並商会	
★★★★	須賀川信用金庫		★	朝日プラザ中央管理組合法人	
★★★★	ひまわり信用金庫		★	下郷町商工会	
★★★★	あぶくま信用金庫		★	株式会社本宮会計センター	
★★★★	二本松信用金庫		★	つみきの家 福島・佐倉下	
★★★★	福島信用金庫		★	有限会社サイトーオート	
★★★★	二本松商工会議所		★	有限会社テレサ	
★★★★	株式会社テレビユー福島		New	株式会社どりーむオン	
★★★★	株式会社ブレイン		New	有限会社インテク	
★	相馬共同火力発電株式会社		New	有限会社菅野房吉商店	
★★	一般財団法人 温知会 会津中央病院		New	サイトウ洋食店	
★	株式会社大東銀行		New	国土防災技術株式会社 福島支店	
★★★★	福島県農業協同組合中央会		New	山本商事株式会社	
★★	株式会社ダイユーエイト		New	山北調査設計株式会社	
★★★★	常磐火力産業株式会社		New	キャノンマーケティングジャパン株式会社 福島営業所	
★★★★	東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所		New	有限会社スポーツショップワタナベ	
★★	日本郵便株式会社 東北支社		New	昭和技術設計株式会社	
★★	株式会社みらい会計		New	株式会社プラスワン・福島	
★★	公立大学法人 会津大学		New	株式会社藤建技術設計センター	
★	国立大学法人 福島大学		New	おとぎの宿 米屋	
★★★★	株式会社リオン・ドールコーポレーション				

令和2年度従来編 製造業等部門

★★★★	藤寿産業株式会社	★★★★	株式会社スズキ製作所 塙工場	★	福島タカラ電気工業株式会社 松川工場
★★	会津パッケージ株式会社	★★★★	共栄印刷株式会社 <small>分野賞</small>	★	東レフィルム加工株式会社 福島工場
★★★★	株式会社シーズ	★★★★	秋元工業株式会社	New	フラウ株式会社
★★	株式会社山川印刷所	★★	株式会社ホクシン	New	株式会社モリヨシ技研
★★★★	大同信号株式会社 浅川事業所	★★★★	大同化工株式会社	New	いわきプレカット協同組合
★★	株式会社やま陶	★★★★	株式会社日ピス福島製造所	New	有限会社新誠電機
★★★★	大同電器株式会社	★	石橋工業株式会社	New	日栄工業株式会社
★★★★	日本工機株式会社 白河製造所	★	株式会社いわき印刷企画センター	New	株式会社赤井製材所
★★★★	アルパインマニュファクチャリング株式会社 <small>優秀賞</small>	★	株式会社グリーン発電会津	New	東亜通商株式会社
★	三宝製薬株式会社福島工場	★	株式会社アダチ・プロテクノ	New	協同組合いわき材加工センター 小川工場
★★	新日本電工株式会社 郡山工場	★	株式会社第一印刷	New	株式会社クラロン
★★★★	協同組合いわき材加工センター	★	福島セラミック株式会社	New	有限会社ラプリール丸高
★★★★	京セラ株式会社 福島郡山工場	★	内池醸造株式会社	New	NOK株式会社 福島事業場 <small>最優秀賞</small>
		★	北光金属株式会社	New	有限会社片野製麺所

令和2年度従来編 運輸・設備業・その他部門

★★★★	山木工業株式会社 <small>最優秀賞</small>	★★★★	福島交通株式会社 <small>分野賞</small>
★★	東北発電工業株式会社 新地支社	★	県北清掃環境サービス協業組合
★★★★	茨城クリーン有限会社	★★	株式会社福島総合エンジニア
★★★★	磐城通運株式会社 本社	★★	一般社団法人 福島市公設地方卸売市場協会
★★★★	磐城通運株式会社 平支店	★★	渡富建設株式会社
★★★★	磐城通運株式会社 小名浜支店	★	フタバコンサルタント株式会社
★★★★	磐城通運株式会社 湯本支店	★	合資会社共立社
★★★★	磐城通運株式会社 植田支店	★★★★	大槻電気通信株式会社
★★★★	磐城通運株式会社 小名浜支店 小名浜製錬営業所	★★	ひめゆり総業株式会社
★★★★	磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所	★★	蓬萊東内科
★★	大槻電設工業株式会社 <small>優秀賞</small>	★	株式会社ケーイーティ
★	大槻商事株式会社 <small>優秀賞</small>	★★	福興産業株式会社
★★	會津通運株式会社	★★	郡山運送株式会社
★★★★	株式会社渡辺組	★	株式会社マルト商事
★★★★	安積運輸株式会社	★	宇内鉄筋工業株式会社
★★	株式会社北福島タクシー	★	采女運輸株式会社
★★★★	福島貸切辰巳屋自動車株式会社	★	株式会社海老屋運送
★★	株式会社堀川環境セキュリティ	★	株式会社帝北ロジスティクス 倉庫事業部
★★★★	株式会社ホームドクター	★★★★	株式会社小野中村
★★★★	水ケアシステム有限会社	New	株式会社福島県東部自動車教習所
★★★★	山川産業有限会社	New	村岡産婦人科医院 (医療法人 栄真会)
★★	株式会社タイセークリーン	New	有限会社ポデーショップサトウ
★★★★	東邦興産株式会社	New	株式会社四輪販売福島
★★★★	株式会社グリーン商会	New	ポタニカル エイジアン(個人事業)
★★★★	ウッドペッカー有限会社	New	しなのきホーム新横
★★	佐藤工業株式会社	New	株式会社SENYO
★★★★	須賀川瓦斯株式会社 LPG供給センター	New	株式会社吉田設備
★★★★	株式会社ニノテック	New	ダイセイ工業株式会社
★	株式会社福産建設	New	三友電設株式会社
★★	東北ポートサービス株式会社 新地営業所	New	株式会社武田工務店
★★★★	泉電設株式会社		

令和元年度上級編

※上級編は、取組期間が一年間であるため令和元年度の参加事業者を掲載しています。

★★	北芝電機株式会社 <small>最優秀賞</small>	★★	日立オートモティブシステムズハイキャスト株式会社 福島事業所
★★	AGC エレクトロニクス株式会社 <small>優秀賞</small>	★★	住友ゴム工業株式会社 白河工場
★★	公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	★★	富士通アイソテック株式会社 <small>入賞</small>
★★★★	ユニ・チャームプロダクツ株式会社 Global 生産本部 福島工場	★★★★	アルプスアルパイン株式会社 いわき事業所
★	会津碍子株式会社	★★	福島ゴム株式会社
★★	マレリ福島株式会社	★★	クラリオン株式会社 東北事業所
★★★★	株式会社クレハ 生産・技術本部 いわき事業所	New	北都オーディオ株式会社
		New	NEC プラットフォームズ株式会社 福島事業所



# 令和2年度「福島議定書」表彰式（令和3年2月）



令和2年度は、従来編・上級編合わせて1,640事業所の皆様に取組いただきました。各事業所から報告いただいた取組結果報告に基づき、審査を行い、取組が優秀な事業所を表彰しました。

## ● 従来編及び上級編 受賞団体一覧 ●

令和2年度従来編	部門	事業所名
最優秀賞	オフィス・店舗等	みやぎ生協・コープふくしま
	製造業等	NOK株式会社 福島事業場
	運輸・設備業・その他	山木工業株式会社
優秀賞	オフィス・店舗等	富士ゼロックス福島株式会社
	製造業等	アルパインマニュファクチャリング株式会社
	運輸・設備業・その他	大槻電設工業株式会社 大槻商事株式会社
団体部門賞		生活協同組合コープあいづ
分野賞	緩和	郡山女子大学 郡山女子大学短期大学部
		株式会社東邦銀行
		福島交通株式会社
	適応	株式会社島工業
		共栄印刷株式会社
		株式会社柳田産業
重点	一般社団法人いわき労働基準協会	
令和元年度上級編	事業所名	
最優秀賞	北芝電機株式会社	
優秀賞	AGCエレクトロニクス株式会社	
入賞	富士通アイソテック株式会社	

（取組期間が通年であるため、令和元年度の取組を今年度に表彰するものです。）

※合計：17団体（表彰式招待団体は、「最優秀賞」、「優秀賞」、「団体部門賞」受賞団体）

その他の県事業の紹介

## 地域まるごと省エネ推進事業（事業者向け省エネ対策推進事業）

- ◆県では、地域ぐるみでの省エネを推進するため、県内の中小企業の皆様に、省エネ設備の更新等に係る費用の一部を助成します。
- ◆補助対象設備は、LED照明などであり、省エネアドバイザーの診断を受けることを要件としています。

詳しくは、下記にお問い合わせください

環境共生課 温暖化対策担当  
電話 024-521-7250  
メール ontai@pref.fukushima.lg.jp

申込期限

7月30日(金)

- ◆補助対象設備
  - ・高効率照明（LED照明）
  - ・空調設備
  - ・電気冷蔵庫・電気冷凍庫
  - ・BEMS（ビルエネルギー管理システム）
- ◆補助率  
1/3以内
- ◆補助額（上限額）  
80万（BEMS併設は100万円）  
※補助率・補助額は一定の要件での優遇制度あり



# 令和3年度 「福島議定書」(従来編) 取組結果報告書

※実施した項目を記載してください。  
記入欄が不足する場合は、任意の様式に記入の上、添付してください。(資料添付可)

## イ 職場交通マネジメント(車通勤からの転換)による削減量



一人あたりのCO<sub>2</sub>排出量削減は下式のとおりに。

$$\text{通勤距離 (km)} \times \text{車以外で通勤した日数} \div 10 \text{ (km/日)} \times 2.3 \text{ (kg/リットル)}$$

\*ガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数: 2.3 (kg/リットル)、  
自動車の標準的な燃費: 10 (km/リットル) とする

計算例

従業員	通勤距離 [往復](km)	クルマ通勤をしなかった日数							削減量(kg - CO <sub>2</sub> )
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	
〇〇	15	4	6	12	9	2	0	33	15×33÷10×2.3=114kg

(2) CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取組内容 (今年度からの新規取組には、(新規)と記入してください。)

節電	
節水	
意識向上	
使用燃料削減	
職場交通マネジメント	
ゼロエミッション	
関連する社会貢献活動	
その他独自取組	

## 2 適応分野の取組結果 (今年度からの新規取組には、(新規)と記入してください。)

設定目標	
暑さ対策	
風水害等の被害対策	
適応をビジネス機会と捉えた企業活動	
その他独自取組	

## 3 重点分野の取組結果 (今年度からの新規取組には、(新規)と記入してください。)

設定目標	
プラスチック製品からの転換	
マイボトル・マイバッグの推進	
その他独自取組	

●「みんなでエコチャレンジ」の参加状況 応募用紙配布枚数  枚

●次年度の参加について、**参加継続を希望しない場合**、下のチェックボックスのいずれかに  してください。

次年度の参加は検討中  次年度の参加継続を希望しない

# 「福島議定書」事業 参加申込書

【継続参加の事業所様へ】  
下記2～7に変更がある場合のみ提出ください。  
8については、取組結果報告書に記載ください。

1	提出日	月 日	本申込書を提出する月日を記載してください。	
2	事業所名		「福島議定書」の事業所名として記載します。 変更が生じた場合、都度ご連絡願います。	
3	代表者	職名	代表者の職名・氏名を記載してください。	
		氏名	「福島議定書」の代表者名として記載します。	
4	住所	〒 -	事業所の代表住所を記載してください。	
5	担当者	部署	担当者の所属部署・職名・氏名を記載してください (県からの発送物は、担当者宛てに郵送いたします)。	
		職名		
		ふりがな		
		氏名	〒 -	担当者の勤務する事業所の住所を記載してください。 上記代表住所と同じ場合は、「同上」と記載してください。
		住所		
		電話番号	県からの連絡については、可能な限りメールを使用 して行います。	
		FAX番号		
E-mailアドレス				
6	登録部門	オフィス・店舗等部門	登録する部門を選んで、 いずれか1つに「○」を記載してください。	
		製造業等部門		
		運輸・設備業・その他部門		
7	公表の可否		事業所名について、県の各種広報媒体での広報を 希望しない場合は「×」を記載してください。	
8	取組分野	いずれか1つ以上の取組分野を選択し「○」を付け、目標を記入ください。		
		削減目標	緩和分野(CO <sub>2</sub> 排出削減)	● 基準年度を、平成30、令和元・2年度から選択 してください。 ● 基準年度に対する当該年度のCO <sub>2</sub> 排出削減目標 量(%)を記入してください(0%以上)。
		取組目標	適応分野(気候変動適応策)	● 課題に対する対策または目標を設定してください。 記入例 「(課題/想定されるリスク)なので、○○する。」 ● 熱中症が想定されるのでグリーンカーテンを設 置する。 ● ゲリラ豪雨が予想されるので、構内の排水路の保 全に努める。
		取組目標	重点分野(プラスチックごみ対策)	● 課題に対する対策または目標を設定してください。 記入例 「(課題/想定されるリスク)なので、○○する。」 ● プラスチックごみによる海洋汚染が想定されるの で、代替品を使用する。 ● レジ袋の削減のため、マイバック推進運動を行う。

※県のホームページには、参加申込書の電子データを掲載していますので活用ください。

福島議定書

事業所名	
------	--

### 「みんなでエコチャレンジ」に参加しましょう!

家庭での省エネ活動を促進する「みんなでエコチャレンジ」に参加して、家庭での地球温暖化対策にも取り組ましよう。参加された方には抽選でプレゼントを贈呈します。  
応募用紙を従業員の皆様に配布し、家庭での取組も進めましよう。

希望枚数				枚
担当者 (※)	送付先住所	〒		
	所属		氏名	

※参加申込の記載事項と同様の場合は、記載を省略していただいても構いません。

～以下については、該当がある場合のみ記載してください～

### 省エネアドバイザーの派遣

- ◆さらなる省エネ対策を希望する事業所の派遣依頼に無料で対応します。
- ◆すぐに実施可能な運用改善を中心とした節電対策をアドバイスします。
- ◆省エネ計画の立案に役立つアドバイスも行います。


 派遣を希望します

※希望事業所が多数の場合には、要望に添えない場合があります。希望事業所へは、派遣に関する資料を送付します。

### エコドライブ講習会への講師派遣

- ◆職員にエコドライブを学ばせたい事業所に対し、講師を無料で派遣します。
- ◆「エコドライブ10のすすめ」を中心に、環境と燃費にやさしい運転方法が学べ、事業所のガソリン使用を削減でき、安全運転にもつながります。

 派遣を希望します


※希望事業所が多数の場合には、要望に添えない場合があります。希望事業所へは、派遣に関する資料を送付します。

#### ～エコドライブ10のすすめとは～

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」
- 2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- 3 減速時は早めにアクセルを離そう
- 4 エアコンの使用は適切に
- 5 ムダなアイドリングはやめよう
- 6 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- 7 タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 8 不要な荷物はおろそう
- 9 走行の妨げとなる駐車はやめよう
- 10 自分の燃費を把握しよう

### 「福島議定書」の発行

県では参加者の皆様に、「福島議定書」を発行しますが、希望しない場合は以下の欄に記載してください。

 「福島議定書」の発行を希望しない

## 令和3年度「福島議定書」事業(従来編) 取組結果報告書

事業所名						
担当者 (※)	部署		職名		氏名	
	電話番号		FAX番号			
	E-mail アドレス				公表の 可否	

※事業所名以外は、参加申込の記載事項に変更のない場合、記載を省略いただいても構いません。

取組分野(取り組んだ分野に「○」をつけてください)					
	1 緩和分野		2 適応分野		3 重点分野 (プラスチックごみ対策)
取組期間			取組事業所数(※)		
月～	月	6月～11月のなかで、2～6ヶ月 を選択してください。	事業所	複数の場合、事業所名一覧表 (様式任意で、所在市町村名を記 入したもの)を添付してください	

※複数の事業所が一体となって取り組んでいる場合は、団体部門の対象となりますので、代表事業所がとりまとめの上記入ください。

県のホームページには、取組結果報告書の電子データを掲載していますのでご活用ください。

[福島議定書](#) [検索](#)

## 1 緩和分野の取組結果

### (1)CO<sub>2</sub>排出削減量

基準年度		目標削減%	
平成 令和	年	%	目標とした基準年度に対する CO <sub>2</sub> 排出削減量(%)を記載 してください。

ア 事業所における削減量	基準年度		令和3年度		削減量				
	①CO <sub>2</sub> 排出係数	②使用量	④使用量	⑤CO <sub>2</sub> 排出量 (①×④ kg-CO <sub>2</sub> )	使用削減量 (②-④)	CO <sub>2</sub> 排出削減量 (③-⑤ kg-CO <sub>2</sub> )			
電気量 (kWh)	0.52 ★1			0	0	0			
新電力量 (kWh)	★2			0	0	0			
水道 (m <sup>3</sup> )	0.54			0	0	0			
ガソリン (ℓ)	2.3			0	0	0			
軽油 (ℓ)	2.5			0	0	0			
灯油 (ℓ)	2.6			0	0	0			
A重油 (ℓ)	2.7			0	0	0			
LPガス (m <sup>3</sup> )	6.6			0	0	0			
都市ガス (m <sup>3</sup> )	2.2			0	0	0			
その他				0	0	0			
合計	-	-	A	0	-	B	0	C	0

★1 東北電力のみを使用している場合は1行目のみ記入してください。

★2 環境省HPの「電気事業者別排出係数の調整後排出係数」記入してください。データがない場合は、参考値として「0.53」を記入してください。

※記載のない燃料を使用している場合には、「その他」欄に記入してください。

※基準年度と取組年度の事業所数が異なる場合には、参考として基準年度の事業所数を記入してください。

※製造業の事業所においては、原単位(生産量当たりの排出量)による報告でも可とします。

削減率 C/A×100		%
----------------	--	---